



2022年11月9日

各 位

会 社 名 フマキラー株式会社
代表者名 代表取締役社長 大下 一明
(コード番号 4998 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 郷原 和哉
TEL. (0829) 55-2112

2023年3月期第2四半期累計期間および通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表しました2023年3月期第2四半期累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)及び2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績予想について下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 第2四半期業績予想の修正

2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	30,900	1,400	1,530	830	50.36
今 回 修 正 予 想 (B)	34,527	1,530	1,742	583	35.38
増 減 額 (B-A)	3,627	130	212	△246	—
増 減 率 (%)	11.7	9.3	13.9	△29.7	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	28,153	1,643	1,799	1,217	73.87

2023年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売 上 高	経常利益	四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	15,400	1,440	1,170	70.99
今 回 修 正 予 想 (B)	13,443	1,259	764	46.36
増 減 額 (B-A)	△1,957	△180	△405	—
増 減 率 (%)	△12.7	△12.5	△34.7	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	15,418	1,522	1,357	82.36

2. 修正の理由

(連結業績)

連結売上高につきましては、東南アジアやイタリアの海外子会社の売上が好調に推移したことや為替の影響等により前回発表予想を上回る見込みです。

利益面では、原材料価格の高騰により売上原価は増加しましたが、売上増により粗利が増加したことなどにより、営業利益、経常利益はいずれも前回予想を上回る見込みです。一方で、個別業績において特別損失として役員退職慰労金を計上したことなどから、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回発表予想を下回る見込みです。

(個別業績)

個別売上高につきましては、主力の殺虫剤・園芸用品が出荷の最盛期となる春先の気温が平年より低い日が続いたことに加えて、コロナ禍も落ち着きを見せて、前期までの巣籠り需要が反動減となったことから売上が減少いたしました。

利益面につきましては、販管費の削減や受取配当金が増加した一方で、売上の減少に伴って粗利が減少し、加えて原材料価格の高騰、円安による仕入コストの上昇などにより原価率が上昇しました。また特別損失として役員退職慰労金を計上したことから、経常利益、四半期純利益は前回発表予想を下回る見込みです。

3. 通期業績予想の修正

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 64,800	百万円 2,500	百万円 2,930	百万円 1,870	円 銭 113.46
今回修正予想(B)	64,850	2,064	2,399	961	58.28
増減額(B-A)	50	△436	△531	△909	—
増減率(%)	0.1	△17.4	△18.1	△48.6	—
(ご参考) 前期実績(2022年3月期)	52,729	2,183	2,541	1,391	84.42

2023年3月期通期個別業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	経常利益	当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 25,300	百万円 1,450	百万円 1,150	円 銭 69.77
今回修正予想(B)	24,461	1,178	675	40.96
増減額(B-A)	△839	△271	△474	—
増減率(%)	△3.3	△18.7	△41.3	—
(ご参考) 前期実績(2022年3月期)	25,125	1,562	1,356	82.33

4. 修正の理由

(連結業績)

連結売上高につきましては、ほぼ前回発表どおりの見込みです。

利益面につきましては、主に個別業績の影響に加えて、海外子会社等の業績を勘案しました結果、通期の業績予想を修正いたします。

(個別業績)

個別売上高につきましては、主力の殺虫剤の拡販を行ってまいりますが、上半期の落ち込みをカバーするまでに至らず前回発表予想を下回る見込です。

利益面につきましては、円安による仕入コストのアップが引き続き見込まれること等から原価率が上昇することに加え、売上拡大による運送コストの増加など、販管費が増加することを見込んでいることから、経常利益、当期純利益は前回発表予想を下回る見込みです。

5. 2023年3月期の配当予想について

2023年3月期の配当予想につきましては、厳しい利益見通しではありますが、株主の皆様に対して安定した配当を継続することが重要であると考え、据え置くこととし、年間1株あたり22円を予定しております。

- ※ 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済・事業環境の変動等の事業リスクや不確定要因により、予想数字と異なる場合があります。

以 上